



BOSCH

ESI[tronic]2.0 インストールマニュアル Vol. 4.01



インストール内容

1. ESI[tronic]2.0 インストール方法
2. info type A 等 インストール方法
3. 認可コード取得、実行方法
4. KTS本体とPCの通信設定方法(USBケーブル使用)

1. ESI[tronic]2.0 インストール方法

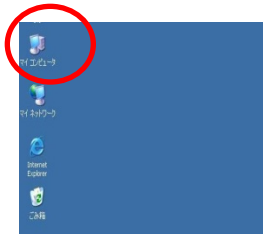
※PCのウィルス対策ソフト等の機能をオフにしてください。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
(診断ソフトウェアの選択を含む)

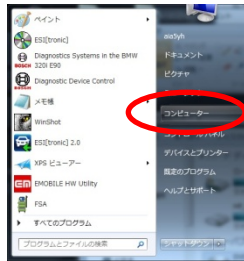
2. ESI [tronic]2.0のDVD1(右記)
をPCのDVDドライブに入れます。



3. Windows 8の場合は自動的に
DVDドライブのフォルダが開く
ので項目5.に進みます。
XP, Vista, 7は、下記ように
コンピューターを開きます。

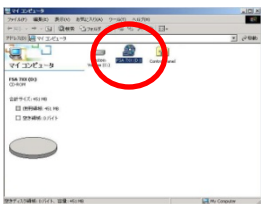


Win XP, Vista

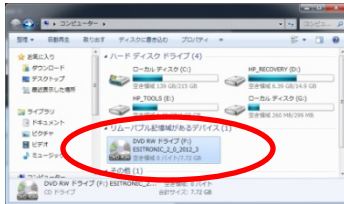


Win 7

4. DVDドライブをダブルクリックします。

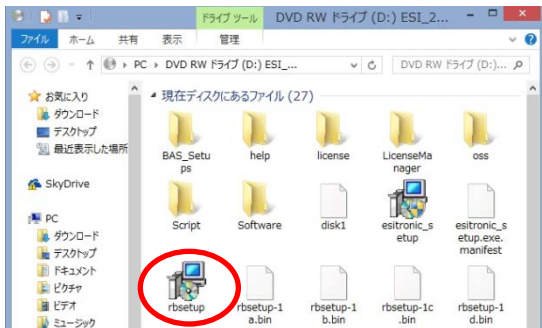


Win XP, Vista

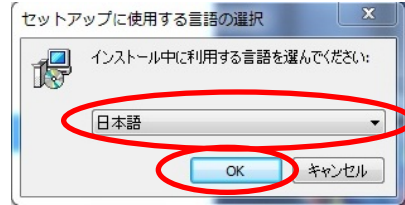


Win 7

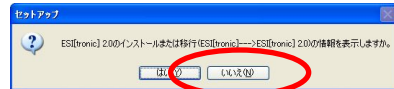
5. Rbsetupをダブルクリックするとアップデート
が始まります。
(DVD 内には他のフォルダもあります。)



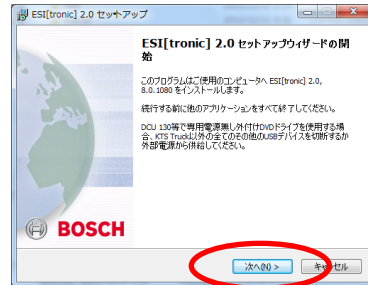
6. 「日本語」が選ばれているのを確認し
「OK」をクリックします。



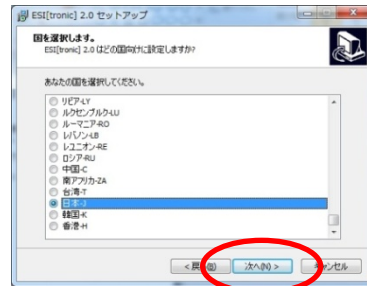
7. 「いいえ」をクリックします。



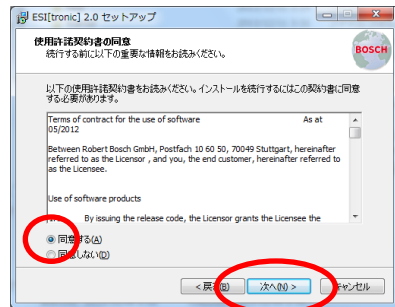
8. 「次へ」をクリックします。



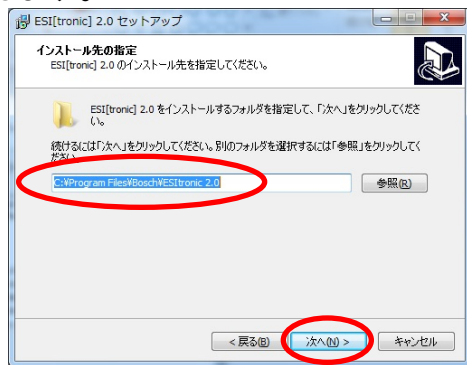
9. 国の選択画面がにて「日本-J」を
選択し、「次へ」をクリックします。



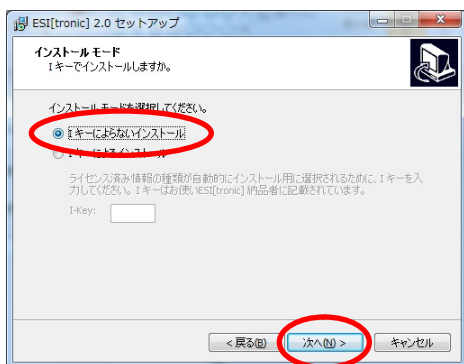
10. 使用許諾契約書の同意画面にて
「同意する」を選択し「次へ」をクリックします。



11. インストール先を確認し「次へ」をクリックします。

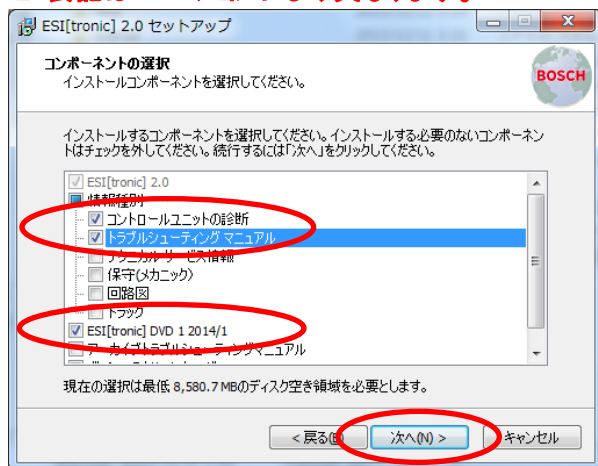


12. 「キーによらないインストール」に変更し「次へ」をクリックします。

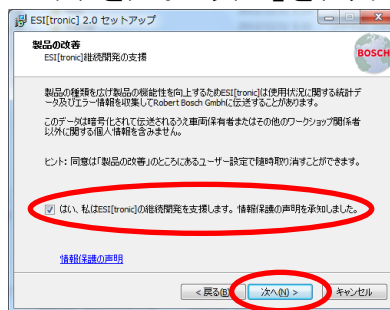


13. 情報種別の「コントロールユニットの診断」「トラブルシューティングマニュアル」(*1)「ESI[tronic]DVD 1 2014/1(*2)」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

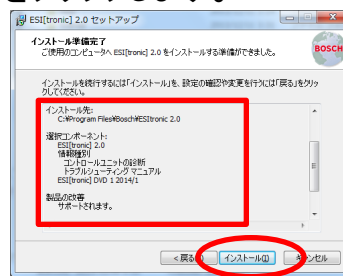
*1 契約内容に応じて追加で選択してください。
*2 表記はバージョンにより異なります。



14. 「はい、私はESI[tronic]の継続開発を…」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



15. インストール先が「Cドライブ」になっていること、選択コンポーネントに「コントロールユニットの診断」「トラブルシューティングマニュアル」「ESI[tronic]DVD 1 2014/1」が含まれていることを確認し、「インストール」をクリックします。

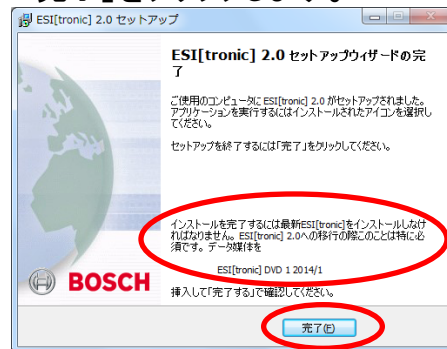


16. インストール状況が表示されます。(約40分)

*契約内容によっては「ディスク2」挿入のメッセージが出ますのでその際にはディスクを入れ替え「OK」をクリックします。)



17. 「インストールを完了するには最新のESI[tronic]をインストール…」のメッセージが表示されるのでESI[tronic] DVD12014(*1)に入れ替え「完了」をクリックします。

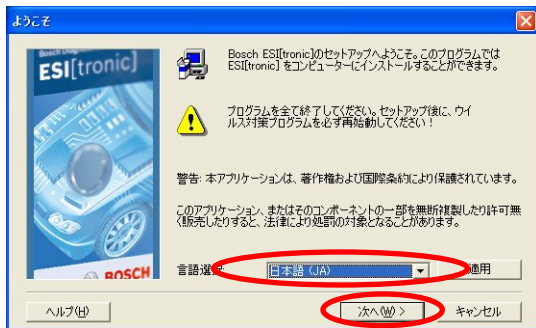


Info タイプA(車両装備)のインストールが始まります。

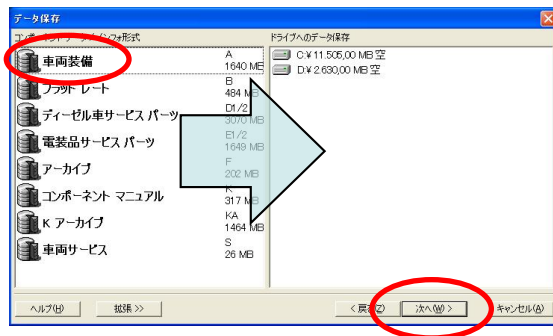
*1 表記はバージョンにより異なります。

2. info type A等 インストール方法 (前ページからの続き)

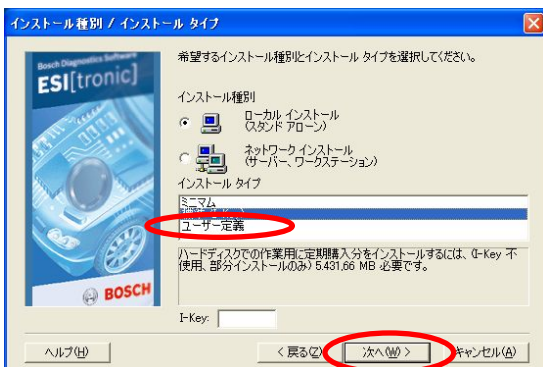
18. 言語選択が「日本語」になっているのを確認し、「次へ」をクリックします。



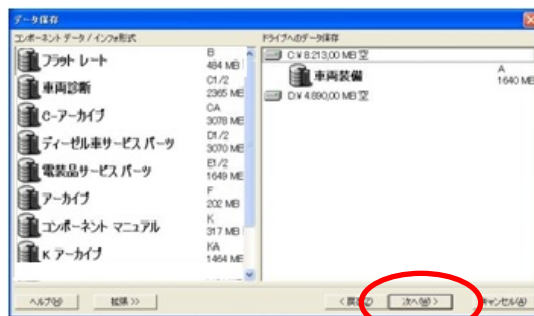
22. 契約内容に応じて「車両装備」等のコンポーネントを、左から右にマウスで保存するドライブにドラッグ(移動)し「次へ」をクリックします。



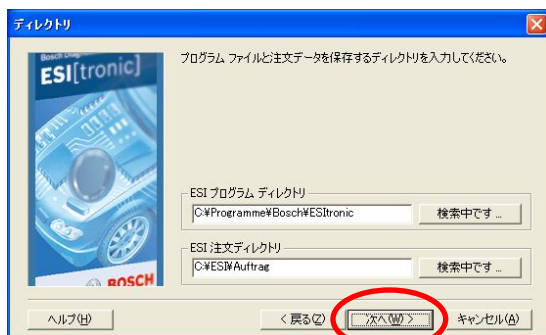
19. ユーザー定義を選択し、「次へ」をクリックします。



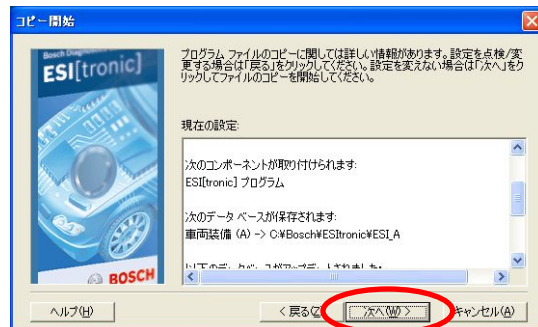
23. 「次へ」をクリックします。



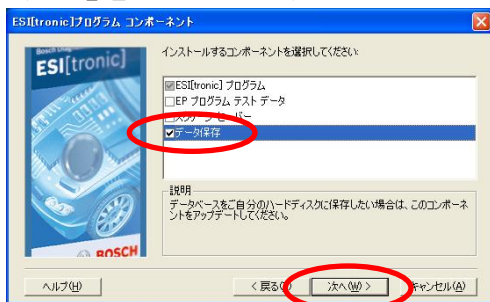
20. 「次へ」をクリックします。



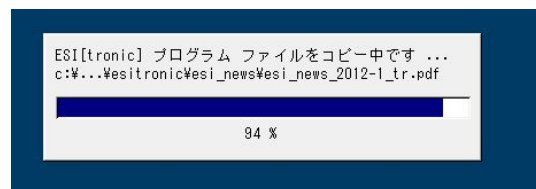
25. インストール内容を確認して「次へ」をクリックします



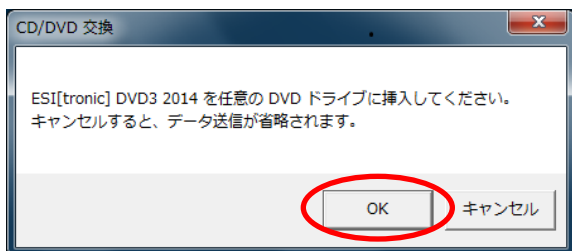
21. 「データ保存」にチェックを入れ「次へ」をクリックします



26. インストール状況が表示されます(

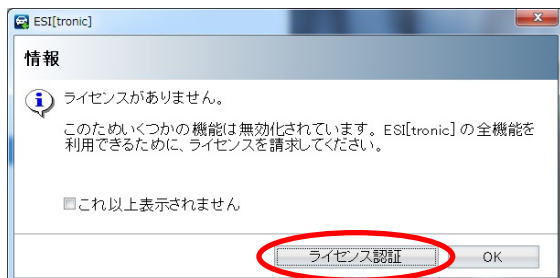


27. 契約内容によっては、途中でDVDの入れ替えを要求されますのでDVD3 2014 (*1) をDVDドライブに挿入し、「OK」をクリックします。



***1 バージョンにより表記が異なります**

28. 下記画面が表示されますので、「ライセンス認証」をクリックすると6ページの2に進みます



ライセンスの取得方法については6ページを参照してください。

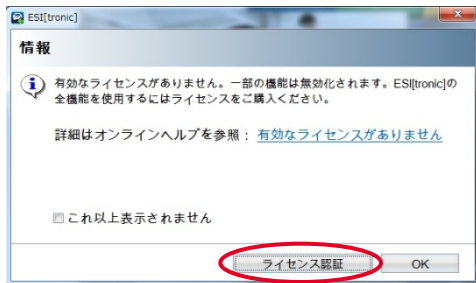
3. 認可コード取得、実行方法

- ➔ 認可申請方法 1: ESI[tronic] 2.0 を使用するPCでWeb環境が利用できる場合。
=> ESI[tronic] 2.0 を使用するPCでオンライン申請 => 5ページへ
- ➔ 認可申請方法 2: ESI[tronic] 2.0を使用するPCでWeb環境が利用できない場合。
=> Web環境が利用できる他のPCでオンライン申請 =>6ページへ

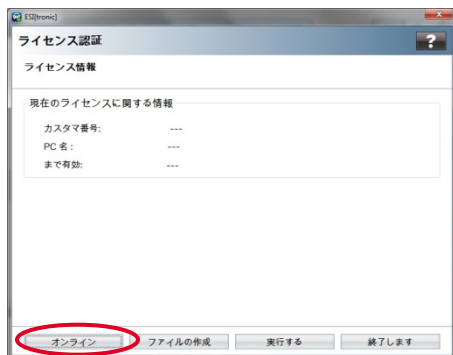
認可申請方法 1:

ESI[tronic] 2.0 を使用するPCでオンライン申請

1. 認可コードが有効化されていない状態で ESI2.0を立ち上げると下記の画面になりますので「ライセンス認証」を選択します。

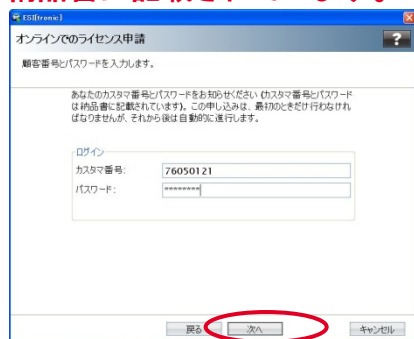


2. 「オンライン」を選択します。



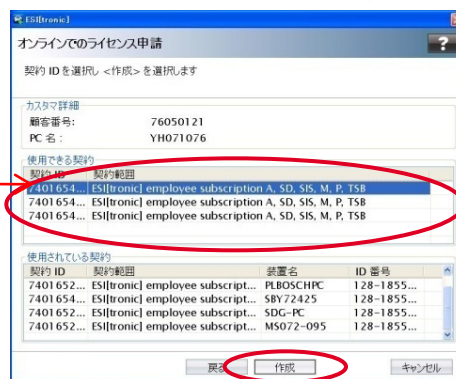
3. 顧客コードとパスワードを入力します。(2回目以降はパスワード入力の必要はありません。)

顧客コードとパスワードは同梱されている納品書に記載されています。



4. 「使用できる契約」欄のなかから上から1個選択し「作成」をクリックします。

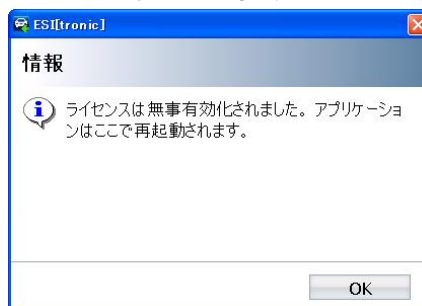
※契約が1個しか表示されない場合もあります。



5. 「実行」を選択します。



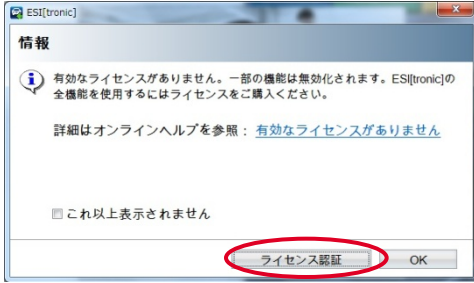
6. ライセンスが発行され、PCに自動的に入力され認可が有効になります。



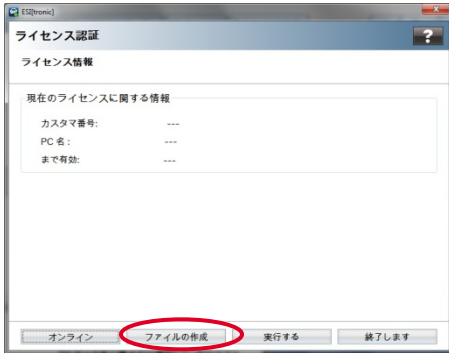
認可申請方法2:

Web環境が利用できる他のPCでオンライン申請

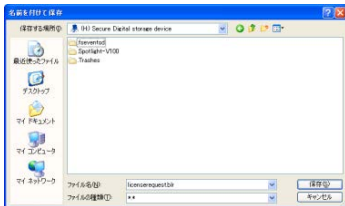
1. 認可コードが有効化されていない状態でESI2.0を立ち上げると下記の画面になりますので「ライセンス認証」を選択します。



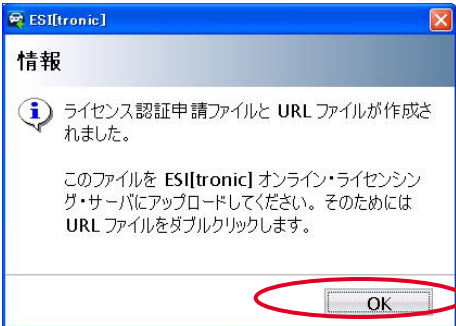
2. 「ファイルを作成」を選択します。



3. デスクトップに任意の新フォルダを作り保存先とし「保存」をクリックします。



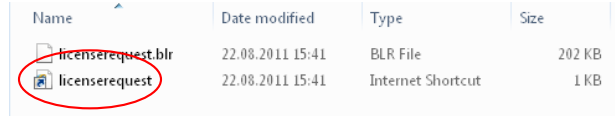
4. 下記のメッセージが表示されます。



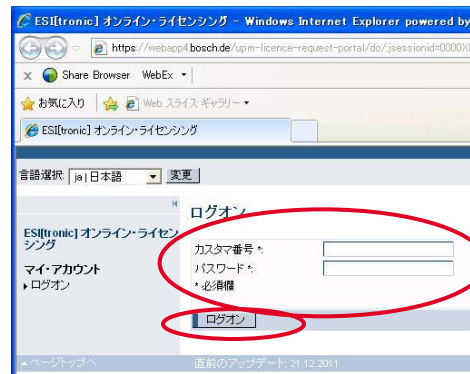
その後、Web環境にて使用できるPCにてライセンス申請を行う為、USBメモリスティックに同フォルダをコピーします。

ここからWeb環境が利用できるPCでの作業です。

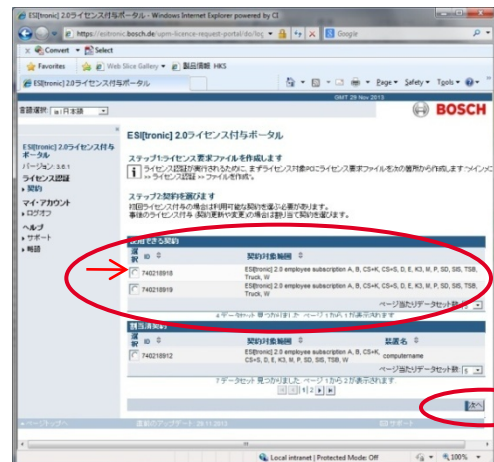
5. 保存先のフォルダには「licenserequest.blr」と「licenserequest」の2種類のファイルが保存されていますので「licenserequest」をダブルクリックします。



6. オンラインライセンスのWebページが開きますので「顧客コード」と「パスワード」を入力し「ログオン」をクリックします。顧客コードとパスワードは同梱されている納品書に記載されています。

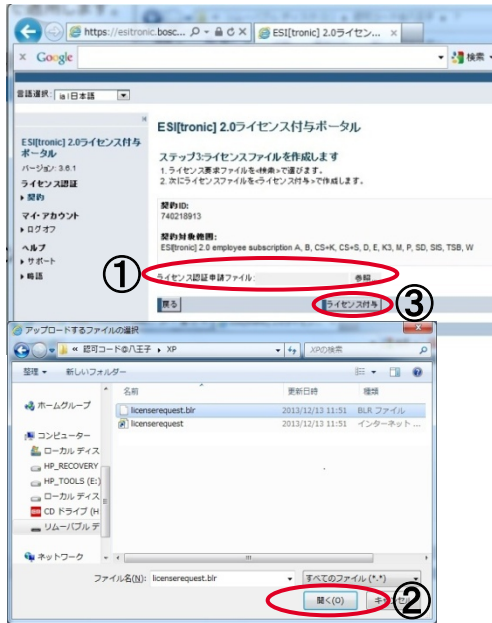


7. 「使用できる契約」欄のなかから上から1個選択して「次へ」をクリックします。

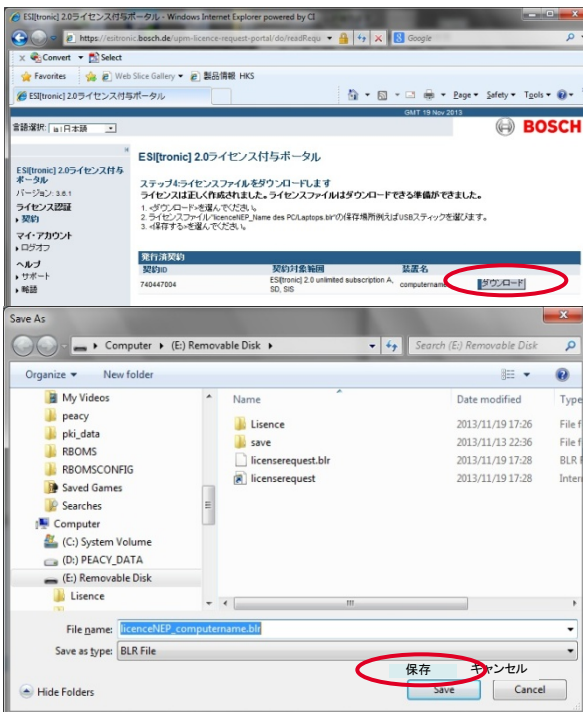


※契約が1個しか表示されない場合もあります。

8. ①「参照」をクリックしてUSBメモリースティックに保存されたライセンスファイル「License request.blr」を選択し②「開く」をクリックし、③「ライセンス付与」をクリックします。



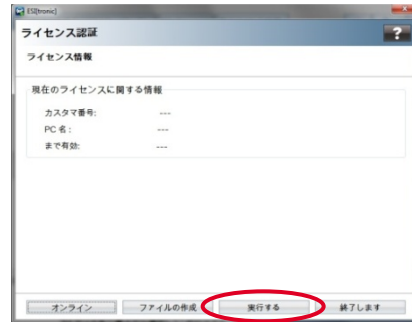
9. 次にライセンスのダウンロード画面になります。ダウンロードボタンをクリックして**ファイル名を変更せずそのまま**USBメモリースティックに保存してください。その後ブラウザをXで閉じます。



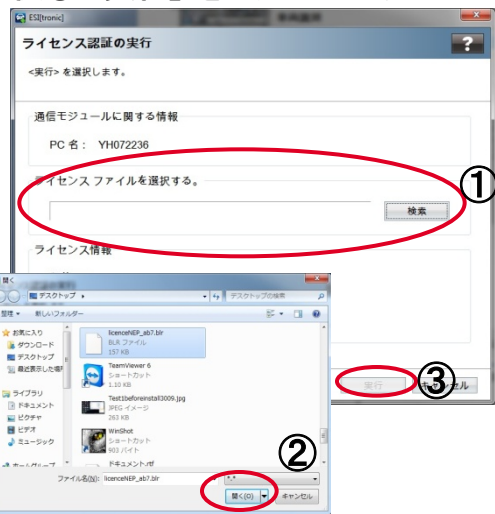
ここから再び診断機PCでの作業となります。

10. 9.にてUSBメモリースティックに保存した認可コードファイルをデスクトップに保存します。ファイル名「License NEP+(コンピュータ名)」

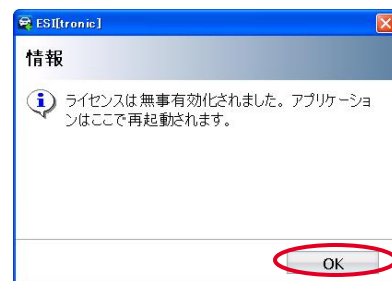
11. 1.(7ページ)の手順にて下記画面を開き、「実行する」をクリックします。



12. ①「検索」にてデスクトップから認可コードファイルを選択し②「開く」をクリック、その後③「実行」をクリックします



13. 下記の画面が表示され、ESI[tronic] 2.0は使用可能になります。



3. KTS本体とPCの通信設定方法(USBケーブル使用)

KTSとPCをUSB接続し、KTSに電源を供給している状態で行ってください。
*KTS540/570のBluetooth 接続の設定方法に関しては同梱の「ブルートゥース接続設定方法」参照

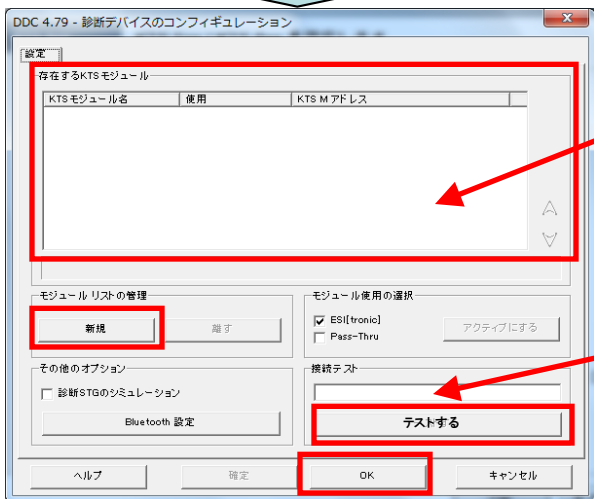
***KTSとPCをUSBケーブルにて接続し、KTSに電源を上級している状態で行ってください。**

KTS通信設定ツールDDCの起動



ESI 2.0 を起動しメインメニューより(左の初期画面の右上)「ハードウェア」の設定を選択します。

ハードウェアの設定画面より「DDCを起動します」をクリックします。



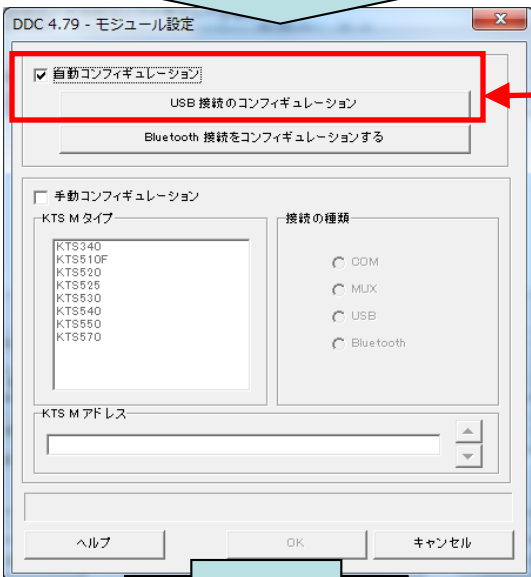
左記のようなDDC“通信設定画面”になります。

すでに設定済みのKTSがある場合には、「存在するKTSモジュール」にリストアップされていますので、使用欄に「ESI」と表示されているKTSのモジュール名と接続方法が実際に使用しているものと同じかを確認します。

1.同じ場合:

「テストする」をクリックし「接続は正常です」が表示されるのを確認し「OK」をクリックし設定は完了です。

2.リストが空 or 接続中のKTSと違う表示の場合/1.のテストで「接続に異常があります」が出た場合: 「新規」をクリックし通信設定へと進みます。

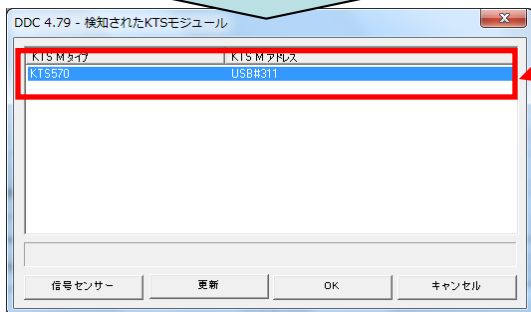


左記のような新規通信設定画面へ移動します。

自動コンフィギュレーション のチェックマークを確認し、



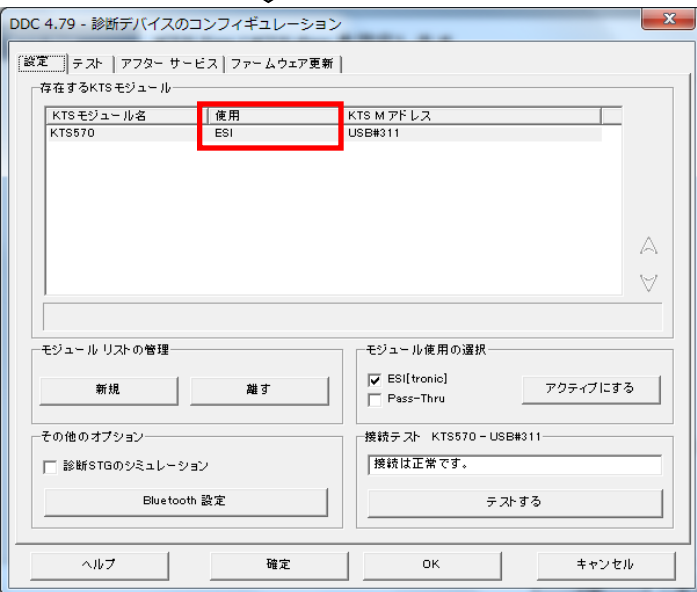
をクリックします。



左記の画面が表示され、USB接続しているKTSを検知したことを確認します。

次に をクリックします。

※ USB経由でPCからKTSが検知されない場合は左記の検知画面へ移行しません。その場合はUSB接続やKTSへの電源供給に異常がないか確認してください。



左記の画面へ戻り、再設定したKTSのタイプが表示されます。

をクリックし、

該当KTSの使用欄に左記のようなESIの
 ついていることを確認し、USB接続設定し

をクリックした後、

をクリックし、

USB接続の設定を完了させます。